【事業の概要】

|  |  |
| --- | --- |
| 1. 応募提案名
 |  |
| 1. プロジェクトの概要
 | 用途 |  |
| 床面積 |  |
| 階数 |  |
| 構造種別 | □鉄骨造□鉄筋コンクリート造□鉄骨鉄筋コンクリート造□木造□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| **区分** | □新築□既存　（増改築・改修の設計・工事等　□有　□無）□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　） |
| 1. **プロジェクトにおける提案者の役割（複数選択可）**
 | **□発注者****□ライフサイクルコンサルティング業者****□設計者****□施工技術コンサルティング業者****□施工者****□維持管理・運用BIM作成者****□維持管理者・運用管理者****□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）** |
| 1. **プロジェクトにおける発注者の位置づけ（複数選択可）**

**※BIMガイドライン第二版p.15を参照の上、記載すること。** | □建築物の所有者**□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）** |
| 1. **検証・分析対象とする業務ステージ（業務区分）（複数選択可）**

**※BIMガイドライン第二版p.20～25を参照の上、記載すること。** | □S0 □S1 □S2 □S3□S4 □S5 □S6 □S7**□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）** |
| 1. **前提とした標準ワークフロー**

**※BIMガイドライン第二版p.31～36、p.62～92を参照の上、記載すること。** | □① □② □③ □④□⑤ □⑥**□その他（　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　　）** |
| 1. **検証の時期**
 | □これからBIMを活用するプロジェクトについて、検証を行う。□既に実施済のプロジェクトについて、BIMを活用して検証を行う。□仮想的なプロジェクトにより、BIMを活用して検証を行う。 |

| ≪応募提案する事業について（全体概要）≫ |
| --- |
| 1. 応募提案する事業について（全体概要）
 |  |
|  | 1.プロジェクトの概要・特徴、BIM活用の目的とその手法、検証・分析等を行うプロセス（例：設計～施工）。 |  |
|  | 2.検証する効果等とその課題等。または分析する課題等とそれを解決した際の効果等の概要。 |  |
|  | 3.実施の手順、体制等。 |  |
|  | 4.本事業を経て目指すもの、目標、解決する課題、成果等。 |  |
|  | 5.その他。 |  |

| **≪提案の具体的内容　（１）BIMの活用による生産性向上等のメリットの検証等について≫****※募集要領２．１（１）を参照の上、記載してください。****※⑨～⑫については、検証等を実施する項目ごとに記載してください。** |
| --- |
| 1. **検証する定量的な効果について**

**※プロジェクトの概要・特徴、BIM活用の目的やその手法等を交えながら、どのプロセス（例：設計～施工）で、どのような効果を検証するのか具体的に記載すること。** | **検証A）****検証B）** |
| 1. **期待される効果の目標**

※単位を記載するなど、定量的に記載すること。 | **検証A）****検証B）** |
| 1. **効果を測定するための比較基準**

※単位を記載するなど、定量的に記載すること。 | **検証A）****検証B）** |
| 1. **検証の手順・実施方針**
 | **検証A）****検証B）** |
| 1. **令和２・３年度事業との相違点**

※プロジェクトの概要・特徴および検証する効果等の観点から、令和２・３年度事業との相違点を記載すること。※令和２・３年度事業と類似のプロジェクトや類似の効果検証に取り組む場合には、令和２・３年度の事業で不十分な点を明らかにするなど、発展的な検証等であることがわかるようにすること。 |  |

| **≪提案の具体的内容　（２）BIMデータの活用・連携に伴う課題の分析等について≫****※募集要領２．１（２）を参照の上、記載してください。****※⑭～⑯については、分析等を実施する課題ごとに記載してください。** |
| --- |
| 1. **BIMガイドライン（第二版）または「建築BIMの将来像と工程表」における該当箇所**

**※該当頁、章・節タイトル、文章等を記載すること。** | **課題A）****課題B）** |
| 1. **分析する課題**
 | **課題A）****課題B）** |
| 1. **課題の解決策の検討の方向性、実施手順**

**※⑮**にあげたそれぞれの課題に対する解決策の検討の方向性、実施手順を記載すること。 | 課題Aに対する解決策）課題Bに対する解決策） |
| 1. **令和２・３年度事業との相違点**

※プロジェクトの概要・特徴および分析する課題等の観点から、令和２・３年度事業との相違点を記載すること。※令和２・３年度事業と類似のプロジェクトや類似の課題の分析に取り組む場合には、令和２・３年度の事業で不十分な点を明らかにするなど、発展的な分析等であることがわかるようにすること。 |  |

| **≪審査基準への適合について≫****※募集要領４．３（１）～（５）を参照の上、記載してください。** |
| --- |
| 1. （１）事業の趣旨・目的への適合性
 |  |
| 1. （２）事業の実現可能性・熟度
 |  |
| 1. （３）事業の発展性
 |  |
| 　（４）事業の波及性 |  |
| 　（５）事業の効率性 |  |

※記載内容について詳細な説明資料がある場合には添付して構わない。添付資料がある場合には、その旨記載すること。